

# 2007年3月期 第1四半期 連結決算説明会

The logo for CASIO, featuring the word "CASIO" in a bold, blue, sans-serif font with a registered trademark symbol (®) to the right.

カシオ計算機株式会社

2006年8月3日

本資料における業績予想及び将来の予想等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。  
従って、実際の業績は、様々な要因により、これらの業績とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

# 2007年3月期 第1四半期連結決算概況

①

単位:億円

連 結	06／3月期	07／3月期	
	第1四半期	第1四半期	増減率
売上高	1,044	1,265	+21.2%
営業利益 利益率	36 3.4%	55 4.4%	+55.5%
経常利益 利益率	34 3.2%	45 3.5%	+31.8%
当期利益 利益率	24 2.3%	27 2.1%	+8.9%

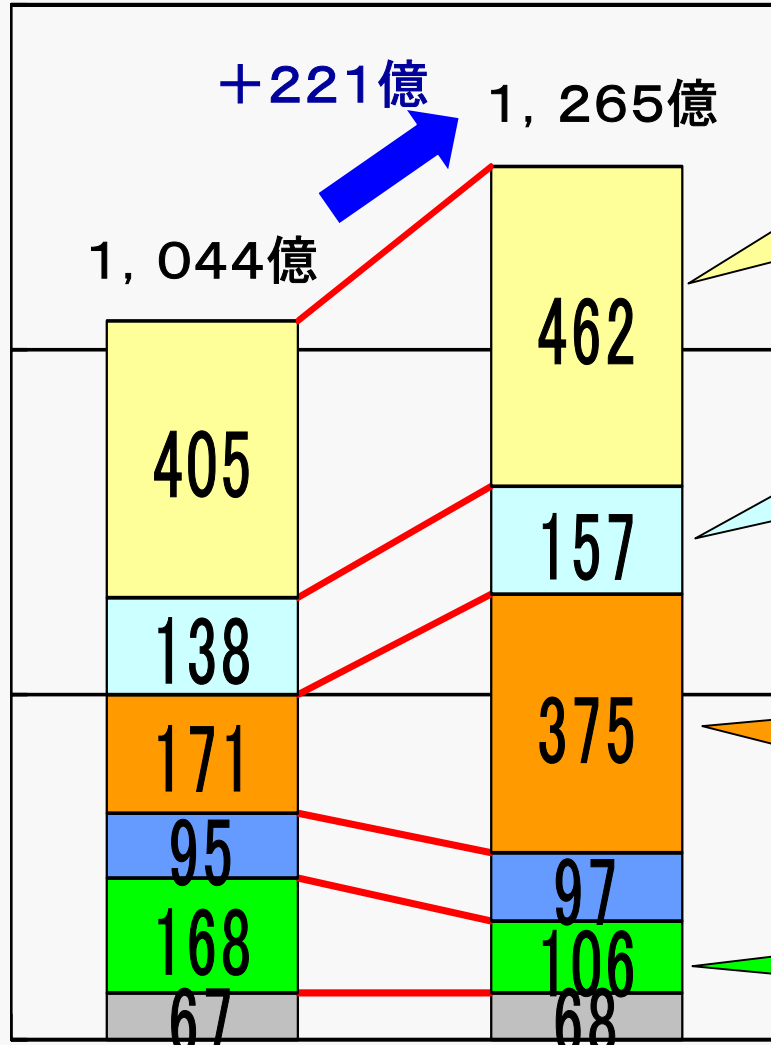
# 売上の概況

億円  
1,500

1,000

500

0



+221億

1,265億

1,044億

405

462

138

157

171

375

95

97

168

106

67

68

◆コンシューマ: +57億

・デジタルカメラ+54億

◆時計: +19億

◆MNS: +204億

◆デバイス: △62億

前年第1四半期  
(平成17年4~6月)

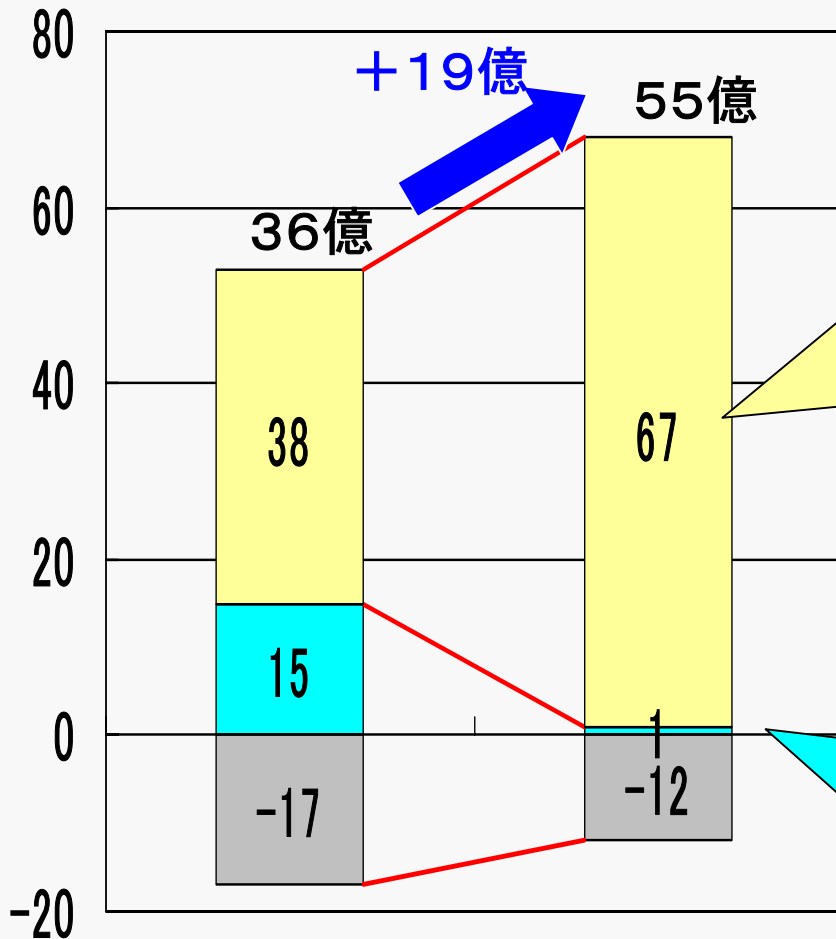
当第1四半期  
(平成18年4~6月)

# 営業利益の概況

③

■ エレクトロニクス機器 ■ デバイス・その他 ■ 消去

億円



◆ エレクトロニクス機器: +29億

・デジタルカメラと携帯電話の増収に伴う増益と利益率改善

◆ デバイス・その他: ▲14億

・TFTの単価下落  
・カシオマイクロニクスの減益

前年第1四半期 (平成17年4~6月) 当第1四半期 (平成18年4~6月)

# 2007年3月期 中間・通期決算予測

④

単位:億円

連 結	07/3月期			
	中間期	増減率	通期	増減率
売上高	2,800	+2.1%	6,200	+6.8%
営業利益 利益率	215 7.7%	+9.0%	500 8.1%	+16.0%
経常利益 利益率	195 7.0%	+9.7%	450 7.3%	+15.6%
当期利益 利益率	115 4.1%	+12.5%	270 4.4%	+13.7%

# 上期見通し

⑤

## 売上

### ◆エレクトロニクス機器：+25億

- ・デジタルカメラは国内・海外ともに順調に拡大
- ・携帯電話は海外もスタートし、国内は新製品投入

### ◆デバイス・その他：▲25億

- ・カシオマイクロニクスの計画見直し
- ・TFTはポータブルGPS向けとハンスター生産スタート

## 営業利益

### ◆エレクトロニクス機器：+14億

- ・基盤事業の収益性向上(12.8%)
- ・デジタルカメラ、携帯電話の利益率も向上

### ◆デバイス・その他：▲14億

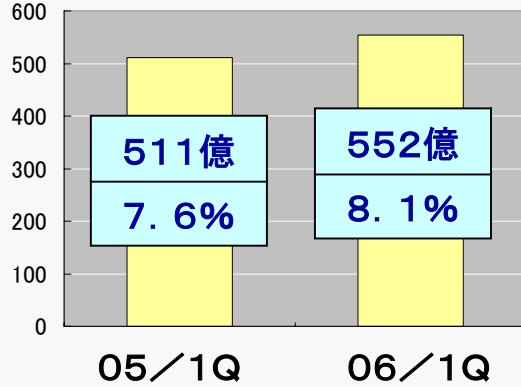
- ・カシオマイクロニクスの計画見直し
- ・TFTは高付加価値ジャンルスタートとコストダウン  
効果実現で収益性改善

# 基盤事業と発展事業

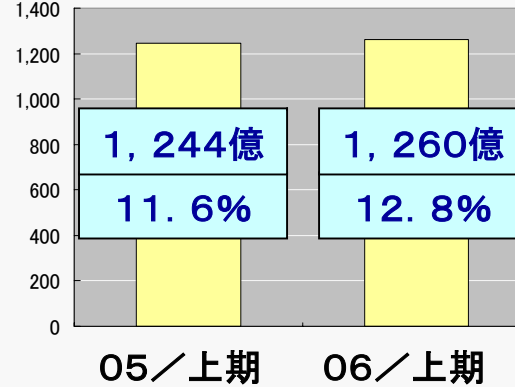
売上  
営業利益率

基盤事業

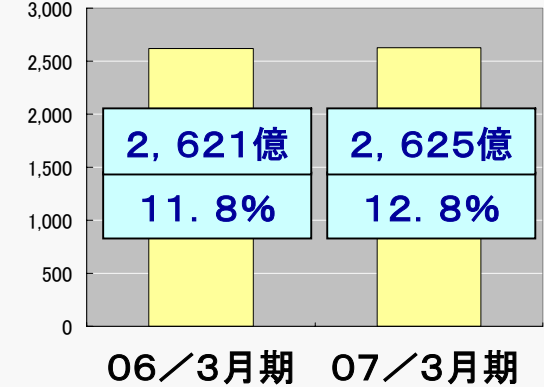
売上:億円



売上:億円

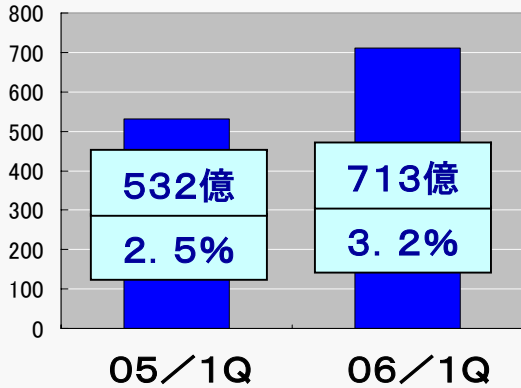


売上:億円

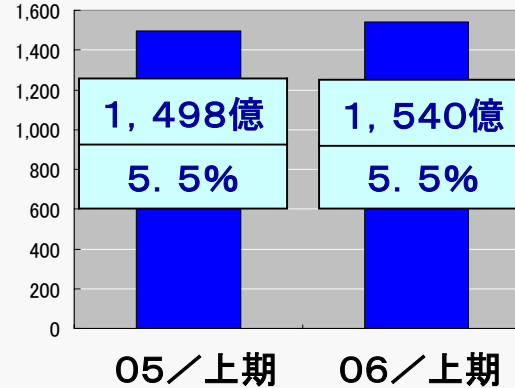


発展事業

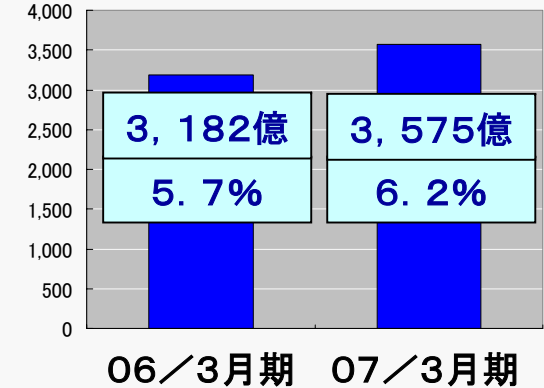
売上:億円



売上:億円



売上:億円



営業利益率

3.4%

4.4%

7.2%

7.7%

7.4%

8.1%



## ◆デジタルカメラ

売上1,300億、営業利益率7%達成を目指す

- ・1QはEX-Z600に加えて、Z1000も販売好調で国内シェア前年比アップ
- ・海外市場でも本格的にスタイリッシュ・コンパクトモデルの普及価格帯が売れ筋となり、北米で順調に拡大推移
- ・2Q以降EX-Z1000を本格的に海外でも拡大し、さらに普及価格帯モデルの新製品投入で海外市場を拡大
- ・収益性も1Qは計画どおり推移し、2Q以降も付加価値のとれる普及価格帯モデルの投入で計画どおり利益率を達成

## ◆電子辞書

国内市場で音声機能対応モデル拡充と海外展開拡大で収益性向上を目指す

- ・1Qは音声機能対応モデルの販売好調
- ・海外市場は中国を主軸に拡大し、高利益率も維持

## 戦略5事業の展開2

⑧

### ◆時計

電波時計比率45%を達成し、営業利益率16%を目指す

- ・1Qは高付加価値なOCEANUSの拡大寄与で時計売上前年比+14%増収
- ・2Q以降女性市場拡大に向けて世界5局の標準電波に対応したBaby-Gの新製品を投入、さらにG-SHOCKでも初めての世界5局対応新製品投入でラインアップを拡充

### ◆携帯電話

海外市場への本格参入で売上拡大し、営業利益率5%の達成を目指す

- ・1Qは前期投入した新製品W41CAが全キャリアでトップシェア達成で大幅な増収に寄与
- ・2Q以降北米市場でコア技術を活かしたモデル投入と国内市場で新製品投入により売上増と収益性向上を目指す

### ◆TFT液晶

新規ジャンル(モバイルGPSナビ向け)への参入による収益性改善と生産キャパ増強

- ・1QはモバイルGPSナビ向け新規顧客先への納入をスタートし、2Q以降の拡大の基盤を構築しつつある。
- ・2Q以降ハンスターの生産開始され、携帯電話向け規模着実に拡大し、今後コストダウン効果も期待できる。

# セグメント別売上・営業利益

<ご参考>

単位:億円

連 結	07/3期 (51期)			
	第1四半期 実績	第2四半期	上期	通期
売上高				
コンシューマ	462	578	1,040	2,250
時計	157	193	350	750
MNS	375	350	725	1,620
情報機器	97	143	240	500
デバイス	106	179	285	750
その他	68	92	160	330
合計	1,265	1,535	2,800	6,200
営業利益				
エレクトロニクス機器	67	164	231	500
デバイス・その他	1	13	14	60
消去	△12	△18	△30	△60
合計	55	160	215	500

**END**